令和7年度 江戸川区立篠崎第四小学校 人権教育 年間指導計画（第1学年）

- 年間指導計画作成のための留意点（東京都教育委員会発行『「人権教育プログラム（学校教育編）」p14 人権教育の年間指導計画（例）」を必ず参照し作成すること）
- 教科等の目標や内容を踏まえ、その単元や題材全体に関わる人権教育の視点を明確にした上で、指導計画に位置付ける。
 - 普遍的な視点からの取組と個別的な視点からの取組を指導計画に位置付ける。
 - 各教科・読書科、特別の教科 道徳、総合的な学習の時間、特別活動等における内容について、**個別的な視点からの取組を中心に**関連を明確にする。
 - 児童・生徒が主体的に学習活動に参加し、互いに協力し合って学習に取り組めるよう、協力的、参加的、体験的な学習を位置付ける。

	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学級経営	人権教育の目標にかかわる学級の目標を設定する。		人権教育の目標にかかわる学級の目標を設定する。		他の人の大切さを認めることを中心とした指導			互いの大切さを認めることを中心とした指導			
各教科・読書科	生活「ときどきわくわく1ねんせい」 みんなで歌ったり、遊具で遊んだり、自己紹介をしたりする活動を通して、クラスメートと友達になるとともに、これからの小学校生活や教科学習への意欲をもつことができる。		生活「あさがおをそだてよう」 植物を大切に育てる。		生活科「生きものをかおう」 動物を飼ったり、植物を育てたりして、それらの育つ場所、変化や成長の様子に関心をもち、生き物への親しみをもち大切にできるようにすることができるようにする。			生活科見学 公共機関の使い方を学ぶ。 動物や植物に触れ、生き物を大切に する心情を育てる。		国語「ずうっと、ずうっと、大すきだよ」 登場人物の様子や気持ちを想像しながら読む。	
特別の教科 道徳	愛校心 学校生活の楽しさを感じるとともに、ルールを守ったり進んで生活したりすることでより楽しい生活にしようとする態度を育てる。	生命尊重 身近な生き物の誕生や成長の様子を見つめ、生き物の命を大切にしようとする心情を育てる。	親切 お年寄りや困っている人に思いやりの心をもち、親切にしようとする心情を育てる。	友情 友達同士、仲よく助け合おうとする気持ちを育てる。	家族愛 父母を愛し、家族のことを大切にすることを育てる。	自然愛・動植物愛護 動植物の身になって優しくすることを学び、身近な自然を大切にしようとする実践的意欲を養う。	家族愛 家族のことを大切にすることを育てる。	尊敬・感謝 お世話になっている人に感謝する気持ちを育てる。	国際理解・外国人 身近な行為である挨拶を通じて、他国の人々とコミュニケーションをとろうとすることができるようになる。		
総合的な学習の時間											
特別活動	なかよし班ロング集会 縦割り班で遊び、交流を深める。					なかよし班遊び よりよい人間関係を築く態度を養う。					
その他	ふれあい月間							ふれあい月間			
	おはなし隊（保護者ボランティア）による読み聞かせ										

「 」=個別的な視点からの取組（末尾の「 」内は人権課題） ↔ =関連的な指導 =多様性を理解し、尊重し合う態度を育成することを重点とした指導。

令和7年度 江戸川区立篠崎第四小学校 人権教育 年間指導計画（第2学年）

年間指導計画作成のための留意点（東京都教育委員会発行『『人権教育プログラム（学校教育編）』p14 人権教育の年間指導計画（例）』を必ず参照し作成すること）

- 教科等の目標や内容を踏まえ、その単元や題材全体に関わる人権教育の視点を明確にした上で、指導計画に位置付ける。
- 普遍的な視点からの取組と個別的な視点からの取組を指導計画に位置付ける。
- 各教科・読書科、特別の教科 道徳、総合的な学習の時間、特別活動等における内容について、**個別的な視点からの取組を中心に**関連を明確にする。
- 児童・生徒が主体的に学習活動に参加し、互いに協力し合って学習に取組めるよう、協力的、参加的、体験的な学習を位置付ける。

	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
学級経営	人権教育の目標にかかわる学級の目標を設定する。		自分の大切さを認めることを中心にした指導をする。			他の人の大切さを認めることを中心にした指導をする。			互いの大切さを認めることを中心にした指導をする。			
各教科・読書科	国語「春がいっぱい」身近な自然に目を向け、親しみをもち、感想を書く。書いたものを読み合い、良いところを見つけて感想を伝え合うこと。		生活科「町探検」自分たちの生活は地域で生活したり働いたりしている人や様々な場所とかかわっていることが分かり、それらに親しみや愛着をもち、人々と適切に接することや安全に生活することができるようにする。			生活科「生きものをかおう」動物を飼ったり、植物を育てたりして、それらの育つ場所、変化や成長の様子に関心をもち、生き物への親しみをもち大切にできるようにすることができるようにする。			国語「スーホの白い馬」最も心を動かされたことについて、感想を交流する。		生活科あしたへジャンプ 自分自身の成長を振り返り、多くの人々の支えにより自分が大きくなったこと、自分ができるようになったことが増えたことなどが分かり、これまでのを支えてくれた人々に感謝の気持ちをもつ。	
特別の教科 道徳	誠実・明朗 うそをついたりごまかしをしたりしないで、素直に伸び伸びと生活しようとする態度を養う。	友情・信頼 学校生活を共に過ごす友達の存在について考え、友達と仲よく活動し、助け合って過ごそうとする心情を育てる。C	生命尊重 かけがえのない生命に気づき、生命あるものを大切にすること育てる。	公徳心・規則の尊重 みんなのことを考えて、公共のきまりや約束を守ろうとする心情を育てる。	愛校心 先生や学校の人々に親しんで楽しい学校生活を送ろうとする態度を養う。	友情 友達のよいところに目を向けて、互いに助け合っていくことの大切さが分かり、どんな場面でも友達と仲よくしていくこととする気持ちを育てる。	家族愛 父母を大切にし、進んで家の手伝いなどをして、家族の役に立つ喜びを自覚させる。	尊敬・感謝 日ごろ世話になっている人々に感謝の気持ちをもって接しようとする態度を育てる。				
総合的な学習の時間												
特別活動						なかよし班ロング集会 縦割り班で遊び、交流を深める。						
	なかよし班遊び よりよい人間関係を築く態度を養う。											
その他			ふれあい月間				ふれあい月間					
	おはなし隊（保護者ボランティア）による読み聞かせ											

「 」=個別的な視点からの取組（末尾の「 」内は人権課題） ↔ =関連的な指導 ◻ =多様性を理解し、尊重し合う態度を育成することを重点とした指導

令和7年度 江戸川区立篠崎第四小学校 人権教育 年間指導計画（第3学年）

年間指導計画作成のための留意点（東京都教育委員会発行『『人権教育プログラム（学校教育編）』p14 人権教育の年間指導計画（例）』を必ず参照し作成すること）

- 教科等の目標や内容を踏まえ、その単元や題材全体に関わる人権教育の視点を明確にした上で、指導計画に位置付ける。
- 普遍的な視点からの取組と個別的な視点からの取組を指導計画に位置付ける。
- 各教科・読書科、特別の教科 道徳、総合的な学習の時間、特別活動等における内容について、**個別的な視点からの取組を中心に**関連を明確にする。
- 児童・生徒が主体的に学習活動に参加し、互いに協力し合って学習に取組めるよう、協力的、参加的、体験的な学習を位置付ける。

	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学級経営	人権教育の目標にかかわる学級の目標を設定する。		自分の大切さを認めることを中心にした指導をする。			他の人の大切さを認めることを中心にした指導をする。			互いの大切さを認めることを中心にした指導をする。		
各教科・読書科		国語「もっと知りたい、友だちのこと」 目的に応じて理由をあげて筋道立てて話すことや友達との発表を聞く能力を身に付ける。		理科「こん虫をそだてよう」 身近な動物や植物を追求する活動を通して、生物を愛護する態度を育てる。				国語「すがたをかえる大豆」 相手や目的に応じ、言葉遣いや段落相互の関係などに注意して文章を書く。	国語「食べ物のひみつを教えます」 身近な生活の中から題材を見つけ、中心になる場面をはっきりさせて書く。書いた文章の感想を伝え合う。		国語「モチモチの木」 文章を読んで考えたことを発表し合い、一人一人の感じ方について違いがあることを理解する。
特別の教科 道徳	友情・信頼・助け合い 相手の身になって考え、信頼し助け合おうとする気持ちを育てる。	規則の尊重・公徳心 人々の気持ちを理解し、社会の決まりや守って、気持ちよく正しく生活しようとする信念を育てる。	生命尊重 自分の生命の尊さに気づき、他の人の生命も同じように大切にしようとする心情を育てる。	友情・信頼・助け合い だれとでも仲よくし、助け合おうとする心を育てる。	思いやり・親切 困っている人を見かけたら、自分のことよりも先に喜んで他者を思いやる行為を実践しようとする態度を育てる。	勤勉・努力・忍耐 自分でやろうと決めたことは、粘り強く最後までやりとげようとする態度を育てる。	礼儀 互いに気持ちよく過ごすためには、礼儀が必要であることを知り、礼儀正しくしようとする心を育てる。	個性伸長 自分の特徴を知って、良い所を積極的に伸ばそうとする心情を育てる。			
総合的な学習の時間	「町探検しよう」 自分たちの町の様子、施設や設備を探検し調べることで、その設備や施設がなんのためにあるのかを考え、町には自分たちだけでなくいろいろな立場の人が住んでいることに気づき、人を思いやる心情を育てる。					「篠崎のお祭りを調べよう」 地域に伝わる祭りを調べることを通して、地域の人々の願いや思い、地域への愛着の心を育て、自分からすすんで関わろうとする心情を育てる。			「ふれあい給食しよう」 日ごろからお世話になっている地域の方を給食に招待し、感謝や礼儀の心情を育てる。		
特別活動	なかよし班ロング集会 縦割り班で遊び、交流を深める。										
	なかよし班遊び よりよい人間関係を築く態度を養う。										
その他		ふれあい月間					ふれあい月間				
	おはなし隊（保護者ボランティア）による読み聞かせ										

「 」=個別的な視点からの取組（末尾の「 」内は人権課題） ↔ =関連的な指導 =多様性を理解し、尊重し合う態度を育成することを重点とした指導。

令和7年度 江戸川区立篠崎第四小学校 人権教育 年間指導計画（第4学年）

年間指導計画作成のための留意点（東京都教育委員会発行『『人権教育プログラム（学校教育編）』p14 人権教育の年間指導計画（例）』を必ず参照し作成すること）

- 教科等の目標や内容を踏まえ、その単元や題材全体に関わる人権教育の視点を明確にした上で、指導計画に位置付ける。
- 普遍的な視点からの取組と個別的な視点からの取組を指導計画に位置付ける。
- 各教科・読書科、特別の教科 道徳、総合的な学習の時間、特別活動等における内容について、**個別的な視点からの取組を中心に**関連を明確にする。
- 児童・生徒が主体的に学習活動に参加し、互いに協力し合って学習に取り組めるよう、協力的、参加的、体験的な学習を位置付ける。

	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
学級経営	人権教育の目標にかかわる学級の目標を設定する。		自分の大切さを認めることを中心にした指導をする。			他の人の大切さを認めることを中心にした指導をする。			互いの大切さを認めることを中心とした指導をする。					
各教科・読書科	理科 「季節と生き物」 生物を愛護する態度を育て、動物の活動や植物の成長と環境のかかわりについて見方や考え方をもつことができる。		保健体育 「育ちゆく体とわたし」 健康な生活及び体の発育・発達について理解し、身近な生活において健康で安全な生活を営む資質や能力を育てる。			国語 「一つの花」 場面の移り変わりに注意しながら、登場人物の気持ちの変化・情景などについて、叙述を基に想像して読む能力を身に付ける。 文章を読んで考えたことを発表し合い、一人一人の感じ方に違いがあることに気づく。		理科 「季節と生き物」 生命の連続性について考えることができる。		国語 「ごんぎつね」 場面の移り変わりに注意しながら、登場人物の気持ちの変化・情景などについて、叙述を基に想像して読む能力を身に付ける。 文章を読んで考えたことを発表し合い、一人一人の感じ方に違いがあることに気づく。		国語 「調べて話そう、生活調査隊」 目的を意識して、調査結果を整理、発表する。		
特別の教科 道徳	友情・信頼、助け合い 友達どうしがお互いを理解し、信頼して、助け合おうとする気持ちを育てる。		思いやり・親切 お年寄りや困っている人に対する思いやりの気持ちを、積極的に伝えようとする心を育てる。		自然愛・動植物愛護 自然のすばらしさにふれ、自然や、動植物を大切にしようとする気持ちを育てる。		思いやり・親切 相手の気持ちを思いやり、親切にしようとする心情を培う。		友情・信頼、助け合い 友だちと励まし合い、助け合って、友情を深めていこうとする心情を育てる。		愛国心 外国の人々やその文化に関心をもつだけでなく、自分の国の伝統や文化を大事にすることに気づき、自らの国を大事にしようと思う心情を育てる。		友情・信頼、助け合い 『子ども』 友だちの気持ちや立場を理解し、助け合っていこうとする心情を育てる。	
総合的な学習の時間	<div style="border: 2px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>「広げよう！ふれあいの輪」 『障害者』 バリアフリーやユニバーサルデザインについて調べたり、出前ボランティア体験をしたりすることを通し、町の中には、障害者やお年寄りにとって便利な施設や設備があることに気づかせる。</p> </div>													
特別活動	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>なかよし班ロング集會 縦割り班で遊び、交流を深める。</p> </div>													
その他	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>ふれあい月間</p> </div>													
	おはなし隊（保護者ボランティア）による読み聞かせ													

「 」=個別的な視点からの取組（末尾の「 」内は人権課題） ↔ =関連的な指導 =多様性を理解し、尊重し合う態度を育成することを重点とした指導。

令和7年度 江戸川区立篠崎第四小学校 人権教育 年間指導計画（第5学年）

年間指導計画作成のための留意点（東京都教育委員会発行『『人権教育プログラム（学校教育編）』p14 人権教育の年間指導計画（例）』を必ず参照し作成すること）

- 教科等の目標や内容を踏まえ、その単元や題材全体に関わる人権教育の視点を明確にした上で、指導計画に位置付ける。
- 普遍的な視点からの取組と個別的な視点からの取組を指導計画に位置付ける。
- 各教科・読書科、特別の教科 道徳、総合的な学習の時間、特別活動等における内容について、**個別的な視点からの取組を中心に**関連を明確にする。
- 児童・生徒が主体的に学習活動に参加し、互いに協力し合って学習に取り組めるよう、協力的、参加的、体験的な学習を位置付ける。

	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
学級経営	人権教育の目標にかかわる学級の目標を設定する。		人権教育の目標にかかわる学級の目標を設定する。		他の人の大切さを認めることを中心とした指導			互いの大切さを認めることを中心とした指導				
各教科・読書科	国語「ひみつの言葉、を引き出そう」言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気付く。話し手の目的や意図に応じて、話の内容を捉える。	外国語「世界のいろいろなあいさつをしよう」外国の様々なあいさつを通して、外国語を用いたコミュニケーション能力の基礎を養う。	理科「生命のつながり」「人のたんじょう」メダカやヒトのたんじょうするまでの過程や生命の連続性を知ることを通して、生命を尊重する態度を身に付ける。		国語「どちらを選びますか」立場を決めて話し合い、事実と感想、意見を区別して伝える内容を聞き取ることを通して、的確に話すことや話し手の意図をとらえながら聞く能力を身に付ける。		体育「ハンドボール」互いのルールを守り、協力しながら進めることを通して協力や互いの態度を身に付ける。		社会「 情報社会がわたしたちの生活に大きな働きをしていることをつかみ、情報の活用の仕方が重要であることを理解する。『インターネットによる人権侵害』			国語「大造じいさんとがん」大造じいさんの行動や心情の変化について読み取り、自分の言葉でまとめる力を身に付ける。
特別の教科 道徳	公正・公平 だれに対しても差別や偏見をもつことなく、公正・公平に接しようとする態度を育てる。『子供』	国際理解 外国の人々や文化を大切にすることをもち、世界の人々と親善に努めようとする心情を育てる。		公徳心 インターネットを活用する上で守るべきルールについて考え、自他の権利を大切にしようとする心情や態度を育てる。『インターネットによる人権侵害』	生命尊重 生命の尊さを理解し、生命を大切に力強く生きようとする態度を育てる。		親切 だれに対しても思いやりの心を持ち、相手の立場に立って親切にする。	謙虚・寛容 謙虚な心を持ち、広い心で自分と異なる意見や立場を大切にしようとする心情を育てる。			礼儀 時と場を弁えた礼儀作法について理解を深め、相手の立場に立ち真心をもって接しようとする態度を育てる。	
総合的な学習の時間	世界の kitchen からインターネットや書籍で、世界の国々の食事について調べ、食文化の違いに気付かせる。								めざせ！ウィンタースクール 自然や、集団生活におけるきまりを学び、自然に対する愛着や、仲間との協力、思いやりの態度を養う。			
特別活動	なかよし班ロング集会 縦割り班で遊び、交流を深める。					なかよし班遊び よりよい人間関係を築く態度を養う。						
その他		ふれあい月間						ふれあい月間			おはなし隊（保護者ボランティア）による読み聞かせ	

「」=個別的な視点からの取組（末尾の「」内は人権課題） $\longleftrightarrow$ =関連的な指導 =多様性を理解し、尊重し合う態度を育成することを重点とした指導。

令和7年度 江戸川区立篠崎第四小学校 人権教育 年間指導計画（第6学年）

年間指導計画作成のための留意点（東京都教育委員会発行『『人権教育プログラム（学校教育編）』p14 人権教育の年間指導計画（例）』を必ず参照し作成すること）

- 教科等の目標や内容を踏まえ、その単元や題材全体に関わる人権教育の視点を明確にした上で、指導計画に位置付ける。
- 普遍的な視点からの取組と個別的な視点からの取組を指導計画に位置付ける。
- 各教科・読書科、特別の教科 道徳、総合的な学習の時間、特別活動等における内容について、**個別的な視点からの取組を中心に**関連を明確にする。
- 児童・生徒が主体的に学習活動に参加し、互いに協力し合って学習に取り組めるよう、協力的、参加的、体験的な学習を位置付ける。

	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学級経営	人権教育の目標にかかわる学級の目標を設定する。		人権教育の目標にかかわる学級の目標を設定する。		他の人の大切さを認めることを中心とした指導			互いの大切さを認めることを中心とした指導			
各教科・読書科	国語「つないでつないで、一つのお話」 進んで話の内容を捉えながら相手の話を聞き、お話作りに取り組む。	社会「江戸幕府の政治」 戦国の世が統一され、身分制度が確立したことや、差別された人々がいたことを知り、理解を深める。 『アイヌの人々』	保健「病気の予防」 病原体が主な原因となって起こる病気の予防方法を知るとともに、やその感染者に対する理解を深める。	社会「江戸の文化と新しい学問」 伊能忠敬について知るとともに、虎松の祖父が解剖を手伝ったことから、蘭学の発展の裏には差別された人々の働きや知識があったことを知る。 『同和問題』	社会「世界に歩みだした日本」 人々の民主主義への意識が高まり、普通選挙や女性の地位向上、差別撤廃を目指す運動が起こったことについて理解する。 『女性』『同和問題』『外国人』	理科「生物とその環境」 食物連鎖や水・空気の循環などから、生命を尊重したり環境を保全したりする態度を養う。	国語「海の命」 それぞれの人物の生き方に対する考えを話し合う。意見や感想を伝え合いを通して、自分の考えを広げる。				
特別の教科 道徳	公正・公平、正義 いじめに対する考えを深め、だれに対しても差別や偏見をもつことなく公正、公平の大切さを自覚し、社会正義の実現に努めようとする気持ちを育てる。『子供』	生命尊重 生命がかけがえないものであることを知り、生きている幸せを感じて精一杯生きていこうとする態度を育てる。	希望、勇気 生命の尊さを考え、たとえどんな苦難に直面しても、生きることにすばらしさを胸に、強く生き抜こうとする態度を養う。	友情・信頼 友達同士の相互の信頼のもと、互いに磨きあひ、高め合うような真の友情を認識し、それを大切にする気持ちを育てる。	国際理解、親善 世界の中で日本と日本人の置かれている立場を知り、世界の人々や文化と積極的に関わろうという意欲を育てる。『外国人』	思いやり・親切 思いやりの心を持ち、よく考え、相手の立場に立って接しようとする心情を育てる。	向上心、個性伸長 自分には自分らしいすばらしい力があることに気付き、その力を伸ばそうとする心情を育てる。				
総合的な学習の時間	めざせ！日光移動教室 日光林間学校で行く地域についての調べ学習を行い、その地域の特徴や環境、歴史について理解を深める。		発見！世界のトップアスリート 日本や世界のトップアスリートについて調べる活動を行い、興味関心を深める。			日本と世界の文化を調べよう 日本や世界の文化について調べ活動を行い、国際理解につなげると共に、日本と異なる習慣や文化をもつ人々への差別や偏見の解消について考える。 『外国人』					
特別活動	なかよし班ロング集会 縦割り班で遊び、交流を深める。										
	なかよし班遊び よりよい人間関係を築く態度を養う。										
その他	ふれあい月間		ふれあい月間		おはなし隊（保護者ボランティア）による読み聞かせ						

「 」=個別的な視点からの取組（末尾の「 」内は人権課題） ↔ =関連的な指導 ◻ =多様性を理解し、尊重し合う態度を育成することを重点とした指導。